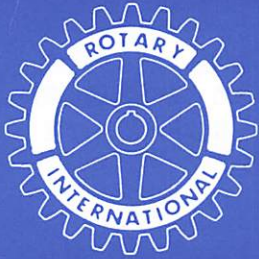


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 尾関武弘
 幹事 伊豫田博明
 会報・雑誌委員長 堀江宏輝

No. 20

意識を喚起し——進んで行動を

CREATE AWARENESS TAKE ACTION

2000～2001年度 RI会長 フランクJ・デブリン

きょうの例会

第881回 平成12年12月12日(火)

講演 “IT時代の病院情報システム”

富士フィルムメディカル(株)
 技術顧問 高野正雄氏
 (紹介 堀江君)

先週の記録

第880回 平成12年12月5日(火) 晴

◆“君が代” “それでこそロータリー”

◆出席報告

会員	71 (63) 名	出席	52名
出席率	82.54%		
前々回	11月21日(修正出席率)	100%	

◆ビジター紹介 1名

◆今月の会員誕生日

山本(英)君(12/9)、宮尾君(12/10)、深見君(12/16)、黒須さん(12/25)、森君(12/29)

伊豫田幹事報告

1. 本日例会終了後、年次総会を開催致しますので
 全会員そのままお残り下さい。
 その後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は芙蓉の間にお集まり下さい。
2. ロータリーの友12月号が来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

舎人君より会葬お礼

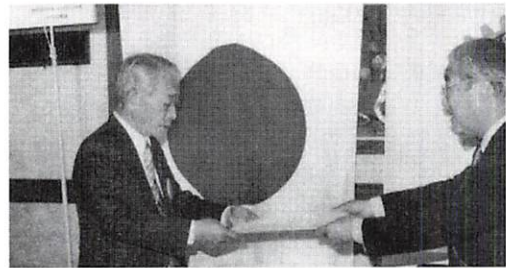
過日は母の葬儀に際しまして、会長始め多数の皆さまにご会葬、並びにご丁寧なるご焼香を頂きまして、心よりお礼申し上げます。

私共、残された者は母に恥じないようお寺を守り、これからも頑張っていくつもりですので、今後とも温かいご厚情とおつき合いを頂きますよう、よろしくお願いたします。

◆年末謝礼贈呈

愛知厚生年金会館・社会保険サービス(株)

◆委嘱状伝達



2001～2002年度東名古屋分区ガバナー補佐として、水野賀讀君に会長より委嘱状が伝達されました。

尾関会長挨拶

12月の声をきいてさすがに寒くなり暖かいものが恋しい季節になりました。私は仕事の関係で時々中国に行きますが、中国人は東洋医学を大変信じており、漢方の陰陽論的に陽性と陰性の食品があり、寒い時には陽性を、暑い時には陰性のものを攝るとよいと云われています。

「ラーメン」は漢語では「拉麵」と書き中国北部で作られる麵の事を指します。中国北部は寒さが厳しく拉麵に使われるスープは脂肪が多く醤油味で塩辛くこってりしています。一方中南部では米飯が主食であり麵はあってもあっさりとした塩味で上海湯麵等はその代表だと思えます。スープ、中華麵、メンマ、焼き豚等の組合せからなる「ラーメン」は日本独特のもので中国人が日本人の舌に合わせて作ったものです。骨付き肉やカツオ節、煮干し、昆布、ネギ、生姜等陽性食品を材料に長時間加熱して作るスープは超陽性食品となり、具として焼き豚、ハム、ニンジン、ニラ等を入れるとこれはもう最高の陽性食品だと中国の人達は云います。日本では長い歴史をもっていないラーメンが日本人の大好物になっているのは、その栄養と旨さもさること乍ら、体を暖める作用にあるのではないかと思われます。

50年前に比べ現在の子供達の平均体温は1℃下がっているときいた事があります。(36℃以下) この現象は大人にも及んでおり、体温が下ると風邪を引きやすく

なるし、血行も悪くなり凝りや痛みも起りやすいと云われています。冬に死亡者が多くなることからしても冷え＝体温低下は万病の一因になり、この意味でラーメンは体を温める陽性食品で良いと中国の人達は云います。

即席ラーメンは「究極の簡便料理」として広く普及していますが、中国の人達の云う陽性食品をもっと加えて、本当に体をあたたまる栄養食品として愛用したいものです。

❦ I・M参加報告 ❦

◆黒須アイ子さん

今年度のI・Mは11月30日に開催され式典、講演会、懇親会と静粛にして盛大に行われました。講演は中部電力株式会社社長、工学博士 太田宏次氏によって「21世紀・日本のエネルギー」というタイトルで参考資料のもとに説明されました。

現在のエネルギー事情はエネルギーセキュリティの確保、環境問題の解決、経済的成長の3つの課題を同時に達成することが政策の基本です。その重要性は地球規模で国際的な課題となっています。我が国では火力、原子力、水力の電源をバランスよく組み合わせ「電源のベストミックス」を実現することでエネルギーセキュリティの確保に貢献してきました。特に温暖化ガスを排出しない原子力発電の推進は、地球環境問題への対応のためにも欠くことができない課題であり安全性に最大限の配慮をしながら今後とも着実に取り組んでいく必要があります。また原子燃料のリサイクルは、21世紀の循環型社会を支えるエネルギー源であり次世代のため今に生きる我々がぜひ実現しなくてはならない課題であると太田氏は講演されました。

私は講演を拝聴し、20世紀のエネルギーは人間の知恵（人間が持っているエネルギー）によって開発されたものであり21世紀に向けても現在我々が想像もできないような素晴らしい進歩、発展を遂げるものと確信しております。

◆鷺谷 龍男君

「21世紀、日本のエネルギー」をテーマに中部電力の太田社長が講演されました。

資源小国である我が国のエネルギー事情を踏まえて、環境問題の解決、エネルギーセキュリティの確保、経済の持続的成長の3つを同時に達成していくと云う我が国のエネルギー政策の基本について説明されたと思います。

結論的には原子力発電の重要性、国情を踏まえた「日本型」の電力供給システムのあり方などに絞られたと思います。その理解を更に深める前提として、1つ目は世界のエネルギー事情、2つ目は我が国の電力事情、3つ目は電気事業の課題と展望、具体的にはグローバルな課題である環境問題を踏まえ、原子力/新エネルギー開発の現状と課題について説明があり、今年3月より実施された「電力部分自由化」の新制度、海外との国情の違いなどについて言及されました。

電気エネルギーについては、充分過ぎる程理解出来

ましたが、福田ガバナーの講評として語られたことが、特に印象に残りました。

それはこれからのエネルギーを考える場合、選択肢は価値観も含めて色々とはあるのではないかと問題提起をされておりました。地球温暖化、環境汚染にしても一口では語れないと云うことであります。

◆山本 英次君

名古屋北北クラブをホストに、中部電力株式会社社長の太田宏次氏が「21世紀・日本のエネルギー」と題し電気事業におけるエネルギーの過去、現在、未来という形で話が進み増大する需要と安定供給という公益事業企業の使命、高騰するエネルギー資源との経済的対応、資源小国の悩み等々業界団体トップとしてのご苦勞をわかり易く技術論も含めて講演戴きました。日本の環境対策は世界1だとの誇り高いお話も窺うことができ、現在は電源のベストミックスの実現、そして日本の電源エネルギーの行き着く先は「21世紀は、量子エネルギーの世紀だ」と結論付けておられました。

その後、次期ガバナー補佐として我がクラブの水野さんと、次期I・Mホストクラブとして尾関会長が紹介されました。水野さんの肩肘張らない飄々としたお話し振り、尾関会長の次期開催の決意と参加のお願いは真摯なもので、とても好感の持てるものでした。

今回参加して気掛かりだったことは、福田ガバナーの総評がやや歯切れが悪かったことです。ガバナーは原子力について環境的にやや疑問視しておられるように感じられました。会議トップと講演者の主義が相反することはないとはいえませんが、もしそうだとしたら講演でなく反対論者も加えたパネルディスカッションやディベート等の方法がベターだったのかもしれない。

また、同月に地区大会とI・Mが開催、場所も一緒だったこともあってやや戸惑いを覚えたのは私だけでしょうか？

来年は我がクラブがホストで開催。名北ロータリーの皆様のご苦勞を垣間見、ロータリーのあり方や経費の問題が問われる昨今の状況を鑑みると身の引き締まる思いをしたI・Mでありました。

年次総会

- ・2001～2002年度理事役員の件
 - ・2001～2002年度I・M負担金の件
 - ・理事（職業奉仕委員長）河村君承認の件
- 上記、全会員に承認されました。

例会変更のお知らせ

名古屋昭和RC 12/18(月) 年末家族懇親会の為
名古屋栄RC 12/18(月) クリスマス家族会の為
マリオットアソシアホテルにて

◆ニコボックスは紙面の都合上、次回掲載と致します。

◆次回例会（12月19日）

年末会員・家族懇親会

名古屋東急ホテル 18時～